

国語 (Japanese I)

担当教員名	仁木 夏実
学科, 科目詳細	建築学科 1年 通年 一般科目 必修科目 2単位 講義
学習・教育目標	(A)(E)
科目の概要	現代の評論文、小説、詩歌、そして、古典的な文章など、様々な文章を主体的に読み、言語化して整理することを通じて、日本語の基本的な知識を習得し、感性と思考に基づいた論理的な読解力と表現力を養う。
テキスト(参考文献)	久保田淳他『新精選国語総合』(明治書院) 稲賀敬二他『新版四訂総合国語便覧』(第一学習社)
履修上の注意	国語は理科系も含めすべての教科の基礎であることを念頭に、予習・復習を怠らず積極的に授業に取り組むこと
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課 中間・期末の定期試験(80%)と平常点(出席状況、受講態度及び授業中の小テストを含む)(20%)による総合評価を行い、60点以上を合格とする。
連絡先	niki@akashi.ac.jp

授業の計画・内容	
第1週	授業ガイダンス・「自分のために詠まれた歌」が、必ずある」(小川洋子)の読解
第2週	「ふと」と「思わず」(多和田葉子)の読解(1)
第3週	「ふと」と「思わず」(多和田葉子)の読解(2)・芥川龍之介について
第4週	「羅生門」(芥川龍之介)の読解(1)
第5週	「羅生門」(芥川龍之介)の読解(2)
第6週	「羅生門」(芥川龍之介)の読解(3)
第7週	「羅生門」(芥川龍之介)の読解(4)・これまでのまとめ
第8週	中間試験
第9週	「美意識は資源である」(原研哉)の読解(1)
第10週	「美意識は資源である」(原研哉)の読解(2)
第11週	「美意識は資源である」(原研哉)の読解(3)
第12週	古文入門・「尼、地蔵を見奉ること」(宇治拾遺物語)の読解
第13週	「ある人、弓射ることを習ふに」(徒然草)の読解
第14週	「花は盛りに」(徒然草)の読解(1)
第15週	「花は盛りに」(徒然草)の読解(2)・これまでのまとめ
期末試験	
第16週	「働くことの意味」(内田樹)の読解(1)
第17週	「働くことの意味」(内田樹)の読解(2)
第18週	「働くことの意味」(内田樹)の読解(3)
第19週	「詩歌」の読解(1)
第20週	「詩歌」の読解(2)
第21週	「詩歌」の読解(3)
第22週	「詩歌」の読解(4)・これまでのまとめ
第23週	中間試験
第24週	「富岳百景」(太宰治)の読解(1)
第25週	「富岳百景」(太宰治)の読解(2)
第26週	「富岳百景」(太宰治)の読解(3)
第27週	漢文入門・「鶏口牛後」の読解(1)
第28週	「鶏口牛後」の読解(2)
第29週	「唐詩」の読解(1)
第30週	「唐詩」の読解(2)
期末試験	